

県政への反映状況（令和6年度開催 知事と一緒に生き活きトーク）

第1回：テーマ「EV先進県岡山の実現に向けて」（R6.4.19）

1 既設マンションへの充電設備導入には、公平な配慮と居住者らに傾聴する気持ちが大切だ。

→ 既築マンションへの充電設備導入は、費用負担や住民合意が課題であるため、セミナー&相談会を開催しています。また、令和7年度からは専門家派遣による伴走型支援を行っています。

マンション居住者向け充電設備導入促進事業 5,584千円
充電設備導入促進マンションアドバイザー派遣事業 2,420千円

2 公共施設の充電設備が故障したまま放置されている。また、充電スポットも増設が必要だ。

→ 県有施設において、故障中であった充電設備を撤去するとともに、令和6年度に事業者と協定を締結し、国の補助金を活用して県有施設への充電設備の設置を進めています。また、公共施設、商業施設、宿泊施設などにおいて利用者を限定せず利用できる充電設備の導入に対し、補助を行っています。令和7年度からは、高速道路のサービスエリア、道の駅などで、国の補助に上乗せして県の補助も受けられるよう制度の見直しを行っています。

充電環境整備事業 17,085千円

3 公用車や給水車のEV化は効果があると思う。また、軽EVに特化した補助金があれば、普及に有効だと思う。

→ 岡山県エコ・オフィス・プランに基づき、県公用車のEV等への転換を進めています。また、軽EVやV2Hを導入している市町村へは補助を実施しています。令和7年度からはEV普通充電設備も対象に追加しています。

エコ・オフィス・プラン推進事業 1,753,574千円

4 EVを普及させるため、試乗会やイベントを開催したり、県内で軽EVが生産されていることなどPRしてはどうか。また、企業に対しても普及啓発を進めていくことが大切だと思う。

→ 県政広報テレビ「晴れの国生き活きテレビ」で軽EV生産工場（三菱水島製作所）を取り材し、放送しました。また、個人向けには試乗会の開催のほか、デジタルマーケティングの手法を用いてEVの特長や補助金情報等を、企業向けには災害時のV2H活用

等を含む情報等を引き続き発信してまいります。

EV の魅力発信事業 2,577 千円
充電マナー等情報発信事業 4,941 千円

第2回：テーマ「企業の成長発展に向けた挑戦

～激変する時代を乗り越えるために今なすべきこととは～」 (R6. 5. 14)

5 樹立伝承等をどのように進めていくかが課題となっている。

→ 事業承継については、引き続き、岡山県事業承継ネットワークの参加機関と連携を図りながら事業者支援に取り組むとともに、令和7年度は、これまでの研修や専門家派遣に加え、新たに、事業承継フォーラムを開催し、さらなる機運の醸成に努めてまいります。

事業承継加速化支援事業 10,452 千円

6 人手不足の解消のため、採用活動を行う際には、自分の会社のことを知ってもらうことが重要となる。県には、県内企業のいいところをPRする機会を設けてほしい。

→ 県内のものづくり関連企業等の新技術・製品等を一堂に集め、広くアピールするため、おかやまテクノロジー展（O T E X）を開催しており、引き続き、こうした場を通じて、県内の大学生、高校生等が優れた技術を持つ県内企業を知る機会等を創出でまいります。また、令和7年度、経営革新計画承認企業ロゴマークを策定することとしており、新規事業に取り組む意欲的な企業イメージを事業者がPRしやすくなるよう、取組を行ってまいります。

おかやまテクノロジー展開催事業 56,689 千円
経営革新支援事業 30,337 千円

第3回：テーマ「特産品を活用した地域づくり」 (R6. 6. 5)

7 コロナ禍以降、DXや輸出関係、販路開拓の取組に関する勉強会は多いものの、特産品に係る取り組みのスタートアップとして他県の事例を聞くことや、集まって情報交換をするような場が減った気がする。スタートアップの勉強会が、以前のように増えると良いと思う。

→ 地域の特性や地域資源を生かした特産品の開発等について、地域からの要望に応じて支援を行っているところであり、今後は、各地域を対象に実施する地域づくりに関するセミナーや研修会等で特産品に係る取組に関する内容で実施する等、特産品に係る取組について学び、情報交換できる機会を増やしてまいります。

おかやま元気！集落活動促進事業 8,700 千円
支え合う地域づくり応援事業(暮らしを支える地域経済振興事業) 4,000 千円
岡山県中山間地域協働センター事業 18,400 千円
持続可能な中山間地域等形成事業 30,000 千円

8 生産者と学生の双方で特産品開発に興味があるが、何度も現地に通うことがハードルになる等、様々な点で噛み合わないところがある。活動に積極的な学生の支援をお願いしたい。

→ 地域と大学の研究室等をマッチングし、地域と学生が協働で地域の特産品の開発を行う際の、学生の旅費や地域活動に係る経費を支援しているところであり、引き続き、学生の地域における課題解決、地域活性化に関する積極的な企画立案をサポートしてまいります。

地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業
6,000 千円

第4回：テーマ「地域で支えよう！～笑顔で子育てできる環境づくり～」（R6.7.4）

9 子育て支援の拠点や子育て支援に関わるスタッフの勉強の場、父親支援や企業と連携したスタッフの勉強の場を作りたい。

→ 備前県民局笑顔あふれる子育て応援事業で、地域住民の交流の促進、親子がくつろぐ居場所づくり、支援者の学習会やネットワークづくり、パパ育児支援等を行っています。
持続可能な中山間地域等形成事業 2,300 千円

第5回：テーマ「生き生きおかやまの実現に向けて」（R6.7.19）

10 教育施設や文化施設が少ない。小中学生が学校以外で体験や学習ができる場が充実すればよいと思う。

→ I C Tを効果的に活用しながら、子どもたちが学びに挑戦できる場を創出するなど、学校規模や地理的要因にかかわらず、子どもたちがさまざまな体験や交流を通して、意欲的に学習に取り組める仕組みづくりを進めます。

第6回：テーマ「こどもまんなか社会の実現に向けて」（R6.8.7）

11 「ももっこカード」を知らない人が多い。もっと周知し、利用が広がれば育児に対する不安が減少するのではないか

→ 子育て世帯から要望の多い飲食店や子ども関連用品店などを中心に協賛店の拡大を図るとともに、ショッピングモールで啓発イベント等を実施し、アプリの利用促進を図っています。

ももっこカード利用拡大キャンペーン事業 5,772千円

第7回：テーマ「中山間地域における農業者の確保・育成とその課題」（R7.1.22）

12 生産者の高齢化により農業の担い手の減少や労働力不足が深刻で、新規就農者の確保、栽培技術の継承が課題である。また、気候変動による施設維持管理等に係る経費の高騰等にも直面しており、資金やハード面でのサポートをお願いしたい。

→ 各種就農・移住相談会等で本県農業について情報発信等を行い、就農を希望する方々に働きかけるとともに、市町村、農業関係機関・団体等と連携し、新規就農者の確保・育成・定着につながるよう取り組んでまいります。

ハイブリッド産地育成加速化事業 36,761千円

第8回：テーマ「グローバル人材の育成」（R7.1.30）

13 小中学生の時から留学という選択肢があることを知る機会があればよいと思う。

→ 令和7年度に現役高校生の留学経験者とのオンライン交流会を実施する予定であり、高校生のみならず中学生や保護者も含め、多くの人たちに留学という選択肢を広めていくよう取り組んでまいります。

夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業 20,972千円